

令和5年度 第6回 国立大学法人三重大学経営協議会 議事概要

日 時 令和6年1月19日（金） 16時30分～17時25分

場 所 事務局2階 大会議室

【一部の構成員等（※を付した者）はオンラインで出席】

出席者 伊藤（正）学長（議長）

伊藤（歳）、大友、河上、竹林、二井、*廣田、丸山 各学外委員

鶴原、酒井、吉岡、木下、西岡、*田中、池田 各学内委員

欠席者 末松、辻、横山 各学外委員

陪席者 服部、小川 各監事

企画総務部長、財務部長

企画総務部総務チーム

◎前回議事概要の確認

学長から、事前に照会した令和5年度第5回経営協議会議事概要（案）について、資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり、了承された。

I. 審議事項

1. 第4期中期目標・中期計画の変更について

木下理事から、「資料：審－1」に基づき、本学の基本理念及びディプロマ・ポリシーの見直しに伴い中期目標の「（前文）法人の基本的な目標」を、令和6年度医学部医学科における入学定員の増に伴い中期計画の「別表 収容定員」を変更することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2. 人事労務に関する規程等の改正等について

木下理事から、「資料：審－2」に基づき、令和5年人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定を受け、職員への影響や財務状況等を勘案し、規程等の改正を行うとともに、本学の運用実態に応じた改正を行うことについて説明があった。続いて、日本学術振興会特別研究員（PD等）の雇用制度による教員雇用並びにフェローシップ及び次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）事業支援学生を対象とした教員雇用に関し、研究に従事する助教の雇用制度を整備し、「三重大学において主として研究に従事する助教の雇用に関する内規」を制定することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3. 四日市市との連携協定締結について

学長から、「資料：審－3」に基づき、四日市市への本学の教育研究拠点整備に関し、同市より設置要望書が提出されたことを受け、設置に向けた具体的な検討を開始することを目的とし、本学と同市との間で検討着手の連携協定を締結することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

<主な意見>

- 北勢地域に新たな教育研究拠点が設置されることが若者の県内定着に結び付けば大変よいことであると思うが、北勢地域だけではなく、三重県全域を研究フィールドにして、地域から求められる人材の育成・輩出をお願いしたい。
- 四日市市への本学の教育研究拠点設置の検討と、地域拠点サテライトの拡充及び再整備は、セットで考えている。地域の偏在がないように、様々なご意見を伺いながら地域拠点サテライトの在り方を検討し、三重大学が北へ重心を移すというような誤解を招かないよう、しっかり対応していきたい。
- 四日市市に教育研究拠点を設置することになった場合、その拠点は物理的に名古屋に近いので、学生が県外に流出するのではという懸念もある。
- 教育研究拠点を設置するならば、むしろ全国や海外から学生を三重県に呼ぶことができるような特徴あるものにしたいと考えているが、詳細は今後検討していく。

4. その他 なし

II. 報告事項

1. 令和6年度予算の内示について

木下理事から、「資料：報－1、参考1」に基づき、令和5年度補正予算を含む令和6年度予算に係る文部科学省からの内示について報告があった。

2. 東海地域・国立大学連携プラットフォーム（C-FRONT）について

学長から、「資料：報－2」に基づき、東海4県の全ての国立大学が一体となり、それぞれのリソースを有効活用することで東海地域全体の持続的な発展に貢献しつつ、大学群としての国際競争力を高めることを目的に設置された東海地域・国立大学連携プラットフォーム（C-FRONT）について報告があった。

<主な意見>

- C-FRONTでは緩やかな連携をということだったが、将来的な方向性として、合併などの話は出ているのか。
- 今のところ、他の大学を含めてそのような動きは全くないが、引き続き地方大学のよさをしっかりと示していく必要はあると感じている。

3. その他

(1) 令和6年度国立大学法人三重大学経営協議会開催日程について

木下理事から、「資料：報－3」に基づき、令和6年度の経営協議会の開催日程について報告があった。

(2) 次回開催について

令和6年3月15日（金）15時00分～

Ⅲ. 意見交換

1. その他
なし

以上